

3月定例会

平成24年度一般会計予算は
236億8,000万円 (前年度当初比 3.5%減)



3月定例会初日の様子

3月定例会には、市長提出議案40件、議員提出議案1件が提出され、すべてを原案のとおり可決・同意しました。主な議案の内容と採決の結果は次のとおりです。

当初予算

「ひと・地域・まち」の3つの「元氣」を創出するために

○平成24年度行田市一般会計予算(原案可決)

平成24年度予算は、財政健全化の取り組みを継続する一方で、第5次行田市総合振興計画の実現に向け、まちづくりの基本理念である「ひと・地域・まち」の3つの元氣を創出する施策に対し重点的に予算を配分しました。

主なものとして、保健・福祉施策では、生活習慣病予防や行田オリジナル体操による健康長寿運動。中学卒業時まで拡大した子ども医療費や小児ワクチン接種、不妊治療助成の継続を実施します。環境施策では、ペットポト



○平成24年度の各種特別会計予算(全て原案可決)
国民健康保険事業費特別会計など6特別会計の平成24年度予算は合計で174億6393万円です。

特別会計の合計額は174億円余
○平成24年度の各種特別会計予算(全て原案可決)
国民健康保険事業費特別会計など6特別会計の平成24年度予算は合計で174億6393万円です。

産業・経済・観光施策では企業誘致事業をはじめ、延期されていた映画「のぼうの城」の公開を契機に行田の魅力を全国に発信するとともに行田産ブランドの確立や地産地消の推進などまちの活気と活力の創出を図ります。
その他、公共施設等の耐震化や地域支え合いの体制づくり、市内循環バスの利用促進など生活基盤の向上に努めます。

ルリサイクル事業、防犯灯のLED化、太陽光発電の設置補助などエコタウン推進事業を展開します。
教育施策では少人数学級編制事業や英語教育活動を継続して行うほか、新小学1年生を対象にしたセカンドブック事業を実施します。

条例 外国人登録法が廃止に

○行田市印鑑条例の一部を改正する条例(原案可決)
外国人の印鑑登録資格を一本化し、取扱い等を整備するため条例の一部を改正するものです。
○外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例(原案可決)
外国人住民も住民基本台帳法が適用されることから、関係条例の規定を整理するため条例を制定するものです。
○行田市公民館条例の一部を改正する条例(原案可決)
行田市桜ヶ丘公民館の設置に伴い、設置場所及び使用料を定めるため条例の一部を改正するものです。

●特別会計予算

(単位:千円)

会計名	予算額	対前年増減額	増減率%
国民健康保険	9,236,737	604,762	7.0
下水道	2,289,339	110,046	5.0
交通災害共済	25,227	26	0.1
介護保険	5,071,437	421,270	9.1
南河原地区簡易水道	131,589	△2,255	△1.7
後期高齢者医療	709,601	61,054	9.4
合計	17,463,930	1,194,903	7.3